（別紙様式例3）

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：　2023年　2月　10日

事業所名：放課後等デイサービス　ウィズ山越

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | | 1 | 3 | ・スペースは狭いが、プログラムを工夫して日々対応している。 | 12 | 9 | | 1 | ・大勢の日は少し密集しそうですが、公園も近いし遊べるので良いと思う。<br>・需要があるからでしょうが、人数を曜日指定している割に急な利用も受け入れられていました。<br>・非常に工夫されていると思います。 | ・継続して、衝立や近くの公園を利用して工夫しながら対応を行っていく。 |
| | 2 | 職員の適切な配置 | 2 | 1 | 1 | | 20 | | | 2 | | |
| | 3 | 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 | 3 | 1 | | ・情報伝達や配慮には気にして配置している。バリアフリーは入り口が出来ていない。<br>・衝立を利用して集中しやすいスペースを確保したり、絵や写真を用いた展示物を使用したりしている。 | 18 | 2 | | 2 | ・コロナ禍でやむをえず事業所を閉める時の情報伝達の配慮には感謝しています。いつもありがとうございます。 | |
| | 4 | 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 3 | 1 | | ・掃除は行っている。空間的に心地よくいかないことがある。<br>・児童が退所後清掃を行っている。 | 20 | 1 | | 1 | | ・掃除は継続して行っていく。 |
| 業務改善 | 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画 | 4 | | | | | | | | | |
| | 2 | 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | | | 4 | | | | | | | |
| | 3 | 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 3 | 1 | | ・研修の機会はあるが頻度は多くない。 | | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 3 | 1 | | | 21 | 1 | | | ・しっかり面談で話を聞いてくれるので本人のことを理解して向き合ってくれている。 | |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 4 | | | | 20 | 2 | | | | |
| | 3 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 4 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供（続き） | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 4 | | | | 21 | | | 1 | | | |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 3 | 1 | | ・主に担当の方が考えており、チーム全体では考えれていないと思う。 | | | | | | | ・職員全員が活動を考えていけるよう意識付けていく。 |
| | 6 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 1 | 3 | | ・固定化してしまう部分もあるが、新たに挑戦している部分もある。<br>・特に遊びの活動では固定化の傾向が見られるが、児童の発達段階や特性、スペースを考えると仕方ないところもある。 | 18 | 3 | | 1 | | | ・新しい活動のプログラムを考える時間(期間)を作っていく。 |
| | 7 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 1 | 3 | | ・長期休暇は特にミーティングの時間の確保が難しくきめ細やかな設定は難しい。 | | | | | | | ・長期休暇時のミーティングを行う時間を作る。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 4 | | | | | | | | | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | | 4 | | ・翌日、振り返りはしている。<br>・出来ている方と出来ていない方がいる。 | | | | | | | |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 3 | 1 | | | | | | | | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 4 | | | | | | | | | | |
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 4 | | | | | | | | | | |
| | 2 | **（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関との連携（続き） | 3 | **（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | | | | | | | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有 | | 3 | 1 | | | | | | | | |
| | 5 | 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 | | 4 | | ・出来ている所もあるが、出来ていない所もある。 | | | | | | | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | | 1 | 3 | | | | | | | | |
| | 7 | 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 | | 4 | | ・公園で地域の子も入って一緒に遊ぶこともある。<br>・公園で地域の児童と交流する機会はあるが、限られた利用者のみである。 | 8 | 3 | | 11 | ・外出が時々あるので、そこで一般の方々とも自然に向き合っているのかと思っている。 | ・送迎時に関わりが見られた時は必ずお伝えするよう徹底していく。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | | | 4 | | | | | | | | |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 4 | | | ・分かりやすく説明を行うよう心掛けている。 | 21 | | 1 | | ・上限額が上がったが、どのくらいの利用料となるのか説明がなかった。また加算負担の署名を求められた際も文書のみだった。 | ・保護者様にしっかり説明が出来るよう知識を身に付けていく。 |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 4 | | | ・分かりやすく説明を行うよう心掛けている。 | 21 | 1 | | | ・モニタリング、支援説明、他の利用事業所さんとケアマネージャー立ち合いの合同支援計画説明と十分に行ってくださっています。 | |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施 | | 2 | 2 | ・送迎時話しはしているが、ペアレントトレーニングとしては出来ていない。 | 12 | 6 | 1 | 3 | | ・ペアレントトレーニングの研修があれば積極的に参加して知識を身に付けていく。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明責任・連携支援（続き） | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 4 | | | ・送迎時行っている。 | 22 | | | | | ・その日の出来事は送迎時に必ず伝えていけるよう今後も継続していく。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 3 | 1 | | ・送迎時行っている。 | 18 | 4 | | | ・ノートにいつも詳細を記入してくれている。<br>・家庭の状況を考慮した支援を行ってくれていて助かります。 | |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | | 1 | 3 | ・感染状況を見ながら少しずつ行っていきたい。<br>・今年もコロナ感染拡大防止のため控えていたが、12月のクリスマス会で参観日という形で交流する場を作ったがコロナのため中止となった。<br>・コロナのため難しい現状である。 | 3 | 6 | 8 | 5 | ・私自身は必要ないと思っていて、今のままでよい。<br>・コロナにより中止<br>・コロナによりないですかね…<br>・コロナもあるので、今はない。<br>・コロナで難しいとは思いますが、他の保護者の方とも意見交換できる機会があればいいなと思います。 | ・保護者同士の関わりが持てるよう常日頃企画を考え、感染状況を見ながら今後も企画を考えていく。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 2 | 2 | | | 12 | 2 | | 8 | ・苦情がない | |
| | 8 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 4 | | | | 17 | 3 | | 2 | ・時折うまく伝わらないと感じる時もある。<br>・夏の行事で参加したいことを職員に「行けるかどうかも分からないし、人数調整もあるので迷惑を掛けそうである」ことを伝えると「参加にしておいてください」と返事が返ってきました。しかし、予定表を提出した、その日に他の職員から参加の意思を再確認されました。私の相談した内容は伝わっていなかったのかなと感じ、そのまま申し込みを取り下げました。ちょっと寂しいな…と感じました。 | 職員同士の連携も今以上に図り、報連相を怠らないよう徹底していく。 |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 4 | | | ・ホームページで行っている。 | 17 | 2 | | 3 | ・ホームページ(ブログ)を見たら子どもの様子がよく分かってよかったです。 | ・ホームページに掲載しているブログのことをお伝えしていく。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 4 | | | | 22 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 4 | | | ・プリントは配布している。毎年一回は配り直してもよいと思う。 | 21 | 1 | | | | |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 4 | | | ・9月と2月で2～3回行っている。 | 18 | 1 | | 3 | | ・避難訓練を行った時は必ず送迎時にお伝えして周知していくよう心掛ける。 |
| 非常時等の対応（続き） | 3 | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | 4 | | | ・研修に参加している | | | | | | |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 3 | 1 | | | | | | | | |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | | 4 | | ・食物アレルギーによる医師の指示書がある利用者はいない。 | | | | | | |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 3 | 1 | | ・日誌にヒヤリハットを付け加えることで記入する機会が増えている。共有も出来ている。<br>・以前に比べると記入は出来てきているが、件数が少ない。 | | | | | | ・ヒヤリハットについて話を行い職員全員が周知して記入していくことを心掛けていく。 |